

# 水銀使用製品は 新ルールで適正処理へ



蛍光管



乾電池



水銀血圧計



水銀体温計

## 京都市民が守る「水銀使用製品」の処理ルール

2013年に採択された「水銀に関する水俣条約」をふまえた国内対策の検討がすすめられ、「家庭から排出される水銀使用廃製品の分別回収ガイドライン」が示されました。このガイドラインにもとづいて、京都市では以下のような「ルール」ができています。



### ●資源物回収拠点に持ち込む

京都市では、拠点回収として18品目をあげ、そのうち「乾電池」「ボタン電池」「充電式電池（小型二次電池）」「蛍光管」「水銀体温計・水銀血圧計」の5品目を「資源物回収拠点」で回収しています。

回収拠点は、各区役所・支所内の「エコまちステーション」（写真）や各まち美化事務所、上京リサイクルステーション、京都市内の協力店です。京都市のホームページから「資源物回収マップ」のページをひらき、お住まいの行政区・学区・回収品目を選択して検索してください。

### ●移動式拠点回収に持ち込む

18品目に「有害・危険ごみ」（石油、医薬品・農薬など）を加えて、市民がお住まいの身近な場所（学校・公園など）に出向き回収する方法です。回収日時・場所は、地域でのチラシの回覧、市民しんぶん行政区版（大きな規模の場合）のほか、インターネットでも閲覧できます。【「京都市」「移動式拠点回収」で  検索 】



## R 一般社団法人 蛍光管リサイクル協会

当協会は「蛍光管の適正処理・再資源化のシステムづくりをめざす」を目的に2010年に設立。オフィスビルなどから排出される蛍光管回収業務の連絡調整などの業務をおこなっています。

〒604-0847 京都市中京区烏丸二条下るヒロセビル4F NPO法人コンシューマーズ京都(京都消団連)内  
Tel.075-255-2503 Fax.075-251-1003

ホームページ <http://keikoukan.com> E-mail: [kyoto@keikoukan.com](mailto:kyoto@keikoukan.com)

# 産業廃棄物としての水銀使用製品の処理も新ルールで

今回の「水銀廃棄物ガイドライン」では、事業所等から排出される水銀を使用した製品の廃棄物を「水銀使用製品産業廃棄物」として取り扱う場合の考え方を示しています。

## 「水銀使用製品産業廃棄物」を排出される事業者の方は…

- 「水銀使用製品産業廃棄物」については他の廃棄物と区分し混合することのないよう保管場所をつくってください。
- 「水銀使用製品産業廃棄物」の収集運搬又は処分の許可を受けた事業者処理委託契約をしていただくことが必要です。
- 委託契約書を作成するにあたっては「水銀使用製品産業廃棄物」を処理委託することを明示してください。
- 委託した「水銀使用製品産業廃棄物」がどのように処理されているかについても「排出事業者の責任」として注意していただく必要があります。
- 「水銀使用製品産業廃棄物」の排出時にはマニフェスト管理をしていただくことが必要です。マニフェストには「水銀使用製品産業廃棄物」が含まれること、その数量を記載することが必要です。マニフェストは一定期間、保存してください。

マニフェスト票の一例

## 「水銀に関する水俣条約」とは

水銀による環境汚染や人間の健康への影響などが問題になる中で、「水銀に関する水俣条約」が2013年10月10日、採択されました。この国際条約の名称には、日本政府の提案により、「水俣病のような被害を二度と繰り返してはならない」との思いを込めて「水俣」の文字が加えられました。

この「水俣条約」の採択をふまえ、国内対策の検討がすすめられ、「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」と「大気汚染防止法の一部を改正する法律」が成立し、公布されました。また、関係する政省令についても準備されてきました。

また、水銀使用廃製品の適正処理のためには「家庭から排出される水銀使用廃製品の分別回収ガイドライン」と「水銀廃棄物ガイドライン」が示されました。ガイドラインの詳細は環境省ホームページを参照ください。

【「環境省」「水銀廃棄物関係」で検索】



## 水銀ミニメモ

## 水銀回収量は!?

### ● 使用済み乾電池からの水銀抽出量 (年間 約200kg) \*

※写真のように近年のものは「水銀ゼロ」がうたわれていますが、古いものや外国製電池、ボタン電池には水銀が含まれているものがあります。



### ● 使用済み蛍光管からの水銀排出量 (年間 約300kg) \*

※蛍光管には、その発光原理から、直管形、環形、ボール形、コンパクト形など、あらゆる種類の蛍光管に水銀が使用されています。

### ● 1台の水銀血圧計の水銀含有量 (50g)

※蛍光管約8300本に相当します(40w管水銀封入量6mgとして換算)。主に医療用ですが、看護学校時代に練習用に買い求め、家庭に置いてそのままになっている、などのケースも報告されています。

### ● 1本の水銀体温計の水銀含有量 (1g)

※蛍光管約160本分に相当します(40w管水銀封入量6mgとして換算)。

\* 水銀回収に関する数字は、野村興産株式会社公表のもの。同社のはかつて東洋一の水銀鉱山と呼ばれた北海道の「イトムカ鉱山」の技術と設備を軸に「水銀処理」に特化した企業です。